

に じ

Vol.37

2016年6月発行号

ご自由にお持ち下さい

地域医療の
かけはし
となることを願って

Contents

- P2 副院長紹介（有留 Dr）
- P3 副院長紹介（嵯山 Dr）
- P4 川内地域診療所への支援活動
- P5 屋内退避施設の紹介
- P6 ワークライフバランス
- P7 新任 Dr 紹介
- P8 診療日程案内



社会福祉法人
恩賜財団 **済生会川内病院**

表紙：甕島鹿島町 鹿の子百合

昨年、7月1日より、済生会川内病院へ赴任し、10か月が経ちました。前は、1998年から、2004年の6年間、当院外科にて、外科部長として診療に従事いたしましたが、今回は、11年ぶり2度目の赴任となりました。当院の多くのスタッフの方々や患者さんから、「お帰りなさい」と温かい声をかけいただき、時間を超えて旧知の仲を温め、診療に励んでおります。そして、今年、4月1日より、副院長の任を仰せつかることになりましたが、その責任の重大さが身にしてみると、この頃です。また、4月より、同時に、がん医療委員会の委員長という職務



済生会川内病院 副院長
有留 邦明
あり だめ くに あき

原点に戻って 地域に密着した医療とがんの 先進医療を推進する必要性

も仰せつかることになりました。今回の職につかせていただいたのを機に、もう一度、原点に戻って、地域に密着した医療とがんの先進医療を推進する必要性を痛感する次第です。

当院は、救急告示病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、鹿児島DMAT指定病院で、現在、診療報酬改定や新専門医制度の導入等の中、地域中核病院としての役割に対する当院への期待が病院の内外から高まっています。当院の使命は、病院の名前の通りと考えています。済生会病院の“済生”とは、生命を済（すく）救う（すく）ことです。つまり、当院の使命は、医の原点である人の生命を済（すく）ことであると考えられます。使命が病院の名前になっていることは、素晴らしいことと思いますが、済生会の成り立ちには以下のものです。1911年（明治44年）2月11日、明治天皇の『済生勅語』によって皇室より、御下賜金150万円と財界の寄付金を合わせて創設されています。済

生会病院の一員である当院の理念は“私達は、保健、医療、福祉を通じて、地域社会に貢献します”というものです。このことより当院のミッションが生まれ、毎年のビジョン、ストラテジーが生まれています。

私自身においては、川薩地区、地域中核病院としての責務の再確認と実践が重要と認識しています。そして、手術体制の強化と地域におけるがんの先進医療を、まずは行うべきものであると考えています。そして、手術、がん医療を通して、地域医療機関との連携強化、地域かかりつけ医との密接な連携、疾患別勉強会から地域連携パス、医療技術者、事務系スタッフの潜在的スキルアップ等につなげていけたらいいと思います。当院の職員の潜在的な能力は、計り知れないと感じます。

地域への貢献、患者の喜び、そして職員の幸せのための医療を皆で力をあわせて行うことが必要と存じます。そのために、私自身、少しでも尽力できたらよいと存じます。

平

成28年4月より済生会川内病院副院長を拝命いたしました。まだ赴任して間もないですが、川内の良さを日に感じております。

私は平成元年に鹿児島大学医学部第二内科（現消化器疾患・生活習慣病学）に入局し、主に消化器内科の診療を行ってまいりました。京都大学医学部での研究・学位取得後、平成18年に消化器疾患・生活習慣病学の助教となり、同年より平成20年までシカゴ大学で再度研究生活を送りました。帰国後は鹿児島大学病院光学医療診療部の講師、准教授を経



済生会川内病院 副院長

寄山 敏男

さき やま とし お

信頼される基幹病院と 川薩地区の医療機関・ 幅広い分野の関連施設との連携

て、平成24年から出水総合医療センターで副院長として勤務してまいりました。

これからは小野原先生、濱田先生そして同じく4月に副院長となられた有留先生とともに4人の副院長で青崎院長の補佐を務めてまいります。出水総合医療センターでは地域医療連携室担当を兼務し、地域の医療機関との連携や、在宅医療の体制作りにも携わらせていただきました。済生会川内病院でも地域の皆様により信頼される基幹病院になっていけるよう、川薩地区の医療機関の先生方をはじめ、幅広い分野の関連施設との連携強化に努力していく所存です。患者さんの身近にある病院（かかりつけ医）と当院、そしてより高度な機能を持つ大病院などがお互いの長所を生かして連携することで、患者さんの病気の状態に応じた適切な検査・治療を受けられる体制を整えていきたいと考えています。

私は消化器専門医・内視鏡専門医として胃腸疾患、胆膵疾患の検査・治療をさせていただいておりますが、

特に潰瘍性大腸炎、クローン病という炎症性腸疾患（IBD）の診療を積極的に行ってまいります。我が国のIBD患者数は増加の一途をたどっており、潰瘍性大腸炎は17万人、クローン病は4万人を超えています。どちらも原因の解明に至っておらず対症療法が主体となり、長く付き合っていく必要がある疾患です。しかし、近年新しい治療法がいくつも開発されたこともあり、治療成績は向上しています。仕事や学校、日常生活にできるだけ支障が出ないように、それぞれの患者さんに合わせたきめ細やかな治療をめざしています。

患者さんが安心して治療を受けられる病院であることはもちろん、職員が働きがいを感じられる良い病院であり続けていけるよう頑張りたいと思います。皆様からのご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

Medical Support

川内地域診療所への支援活動



薩摩川内市の西方、東シナ海上に浮かぶ甌島は鹿児島県からへき地に指定されており、当院はへき地医療拠点病院として甌島の医師が不在時は代診を支援しています。また、薩摩川内市では市の中心部から離れ、交通事情が悪く、高齢者の医療機関への通院が負担になっている5か所の地域（西方、湯田、高江、久見崎、寄田）に地域診療所を設け、医師会員が毎月診療を行っています。当院も平成25年11月から湯田、久見崎地区のコミュニティセンターで月1回、定期診療（医師1名、看護師1名、事務職員2名で担当）を行っています。今回は湯田、久見崎地区の診療を紹介します。

湯田地区は当院から北西へ車で約30分、山あいの地区です。コミュニティセンターは田んぼに囲まれており、玄関や二階の壁にはつばめの巣がいくつもあります。玄関の天井に巣をへびから守るための仕掛けがしてあるのはびっくりしました。道路を隔てて高城西中学校があります。校庭は広く、校舎もしっかりしていますが、数年前に廃校になったと聞きました。診療所の患者は男1人、女8人で年齢は74〜94才、平均81才です。94才の腰が直角に曲がったおばあちゃんは手押し車を押して、家

猫を従えてやってきます。

久見崎診療所は当院から西へ車で約20分、川内川が丁度東シナ海に注ぐ河口のすぐ傍にあります。周りには民家がポツンポツンと建っており、すぐ近くには廃校となった滄浪小学校があります。近くでは九州原子力発電所の原発が2基再稼働しています。滄浪小学校は今は原発事故の際の屋内退避施設となっています。診療所の患者は男3人、女5人で年齢は53〜88才、平均76才です。

湯田診療所は畳に座って、久見崎診療所は長椅子に座っての待合となりませんが、両診療所とも待合室は世間話に話が咲き、とてもにぎやかです。両診療所とも患者のほとんどは一人暮らしか夫婦二人暮らしです。患者の多くは高血圧症で腰痛や筋肉痛・神経痛を抱えています。皆さん、朝早く起き、畑を耕し、早く寝るといって規則正しい生活を送っています。それぞれ頭もしっかりとし、畑の野菜、山の幸、海の幸をいただきながら、つましく元気に暮らしています。時には我々もタラの芽、ツワブキ、椎茸、魚の塩漬け等の自然の恵みをお土産にいただいています。

月1回、みんなの明るい笑顔に接し、ゆるゆるとした時間の流れる診療は私の秘かな楽しみになっています。

屋内退避施設について

事務長 山下 宗則

「屋内退避施設」、これはいったいどんな施設
なんですか？

福島原発事故の避難時、20キロ圏内の病院
施設から850人の入院患者が避難すること
となりました。この中で、移送中に48名が亡くなり、
避難先においても一月以内に60名、総計100
名を超える避難患者が亡くなっています。屋内
退避施設は、万が一、原子力災害が発生した際、
早期の避難が困難である入院患者等を安全に
避難させるため、放射線防護機能を有する施設
に3~4日程度、一時的に退避させようという原
子力災害対策施設です。

薩摩川内市では、すでに廃校となった小学校
体育館等を利用して、PAZ※1内に、5件の屋
内退避施設が整備されました。また、27年度末、
UPZ※2内で、当院(3階西病棟を改修)と川内
市医師会立市民病院にこの施設の整備が完了
しています。

この施設の心臓部ともいえる、空気中に放
出された放射線をろ過するフィルター部に
関し、薩摩川内市内の既存施設では、当院以外は、全
て国産の放射線ろ過フィルターを使って改修さ
れています。改修するに当たり、当院と類似して
いる福井県高浜病院を見学しました。メンテナ
ンス、ランニングコスト、外観を損ねない等の条
件をクリアできる、高浜病院が採用している写

真のような、イスラエル製の放射線ろ過フィル
ターにすることにしました。

外観はいつもの済生会病院ですが、3階西病
棟は屋内退避モードのスイッチが入ると、イスラ
エル製放射線ろ過フィルター等により、室内空



気圧は汚染された外の空気よりかなり高くなり、
汚染空気が入らないようになります。また、ここ
で3~4日程度生活するために、患者及び医師
等メディカルスタッフを含め、約100名が生活
できるよう水・食料品等も備蓄されています。

いつでも万全の対応が取れるよう、訓練及び
機器のメンテナンスを継続し、万一の有事に備
えていきたいと考えています。

※1 PAZ=予防的防護措置を準備する区域
原発より概ね5km圏内

※2 UPZ=緊急時防護措置を準備する区域
原発より概ね30km圏内

WLB事業に参入



かわ うち すみ お
川内 済生 君 一家



イメージキャラクターが決定!

各部署から選出されたメンバー20名。2年後のゴールを目指して、月に1回の話し合いをしています。今後活動内容を報告していきます。

メンバー

事務長	薬剤師.....1名
看護部長	放射線技師...1名
看護師.....13名	施設整備.....1名
看護補助者...1名	検査技師.....1名

1

グループメンバー

WLBの周知について

(寺脇・山ノ内・寺下・杉田・上野)

- WLBを充実させて職員満足、患者満足、組織満足 (寺脇看護部長)
- 仕事の総仕上げ!! WLBに取り組みます。皆さん、楽しく仕事ができますように...
- 「WLBって言えば〇〇さん」と思ってもらえるように頑張ります。

今回はメンバーの意気込みを掲載します。

2

グループメンバー

ピタッと帰るDayに向けて

(横山・上曾山・加田野・徳田・川路・平・中島)

- 働きやすい職場環境作りを目指して頑張ります。よろしくをお願いします。
- より働きやすい病院目指して!! WLBのメンバーと頑張りましょう!
- 働きやすく時間にピタッと帰れるような環境を目指して頑張ります。
- よりよい職場環境へ変わっていけるよう率先して実践します。



3

グループメンバー

リフレッシュ休暇の取得へ向けて

(山下事務長・有川・繁田・宮脇・太田黒・福重・佐々木・花野)

- 人(患者、職員)を大切にする病院と言っていただけるように、微力ながら頑張ります。(山下事務長)
- 職員のみなさんがリフレッシュ休暇をとれるように、WLBの皆と協力して頑張ります。
- リフレッシュ休暇取得の定着を目指し、頑張ります。
- 目指せ! 全職員リフレッシュ休暇取得!! を目標に取り組んでいきます。
- 頑張って仕事をしている職員のために、リフレッシュ休暇が取れるようにWLB活動を頑張っていきたいと思います。



つばさ君の育児奮闘記

昨年9月から1か月間、男性看護職員では初めての育児休暇を取得しました。

朝、嫁が連れて行く長男の保育園を見送りお仕事スタート

洗濯機のスイッチオン 嫌いな掃除機からスタート。掃除機って物を動かしながらで、面倒臭い...長女を抱っこ紐でおんぶしながら...

うーんこれって筋トレになる?

全部屋かけ終わった頃に洗濯機がピーピー、次は洗濯物かぁ... 続く...



新任 Dr. 紹介

4月以降新しく当院の医師となった
10名をご紹介します。

よろしく
お願いいたします!



消化器内科

さきやま としお
氏名: **嵩山 敏男**

- 出身地 鹿児島市
- 前赴任地 出水総合医療センター
- 趣味 音楽
- コメント 患者さんが話しやすい雰囲気作りと、わかりやすい説明を心がけてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



消化器内科

たぐち ひろき
氏名: **田口 宏樹**

- 出身地 出水市
- 前赴任地 鹿児島大学病院
- 趣味 ゴルフ
- コメント 川薩地区の消化器内科を盛り上げていきたいと思っております。精一杯頑張りますので、よろしくお願申し上げます。



消化器内科

ふくもり こう
氏名: **福森 光**

- 出身地 出水市
- 前赴任地 鹿児島県立大島病院
- 趣味 車のドライブ・弓道
- コメント 出水出身です。霧島・指宿・阿久根・宮崎県高原町・奄美大島等、いろんな地域をまわってきました。北薩地区の地域医療に貢献できるように頑張っていますので、宜しくお願いします。



消化器内科

なかむら よしたか
氏名: **中村 義孝**

- 出身地 長崎
- 前赴任地 鹿児島市立病院
- 趣味 スキューバダイビング
- コメント はじめまして。5月より赴任しました中村と申します。北薩地区での勤務は初めてで、川内で生活するのも初めてです。早く病院や地域に慣れ、多くの患者さんに喜んで頂けるような医療を提供できるよう、がんばっていきたく思います。よろしくお願します。



消化器内科

まつおか さとる
氏名: **松岡 慧**

- 出身地 鹿児島市
- 前赴任地 鹿児島大学病院
- 趣味 映画鑑賞
- コメント 4月から済生会川内病院の内科医として働かせていただいております。忙しいですが楽しくやらせていただいております。働きやすい環境で本当に助かっております。まだ、不慣れでご迷惑をお掛けしますが、ご指導の程、何卒よろしくお願申し上げます。



消化器内科

こだま ともこ
氏名: **児玉 朋子**

- 出身地 霧島市
- 前赴任地 鹿児島大学病院
- 趣味 映画鑑賞
- コメント 地域に貢献できるように頑張ります。どうぞよろしくお願致します。



内科

むらおか よしろう
氏名: **村岡 良朗**

- 出身地 鹿児島
- 前赴任地 高原町立病院
- 趣味 バドミントン
- コメント 人数が減って大変ですが、がんばります。



泌尿器科

はせき たろう
氏名: **栢木 太郎**

- 出身地 鹿児島市
- 前赴任地 鹿児島大学病院
- 趣味 家族との時間
- コメント 一生懸命頑張ります。よろしくお願します。



放射線科

しんどう としかず
氏名: **進藤 俊和**

- 出身地 長崎市
- 前赴任地 上村病院
- 趣味 ドライブ・読書・バスケットボール観戦
- コメント 10年ぶりに済生会病院に帰ってきました。よろしくお願します。



放射線科

たかえす しん
氏名: **高江洩 伸**

- 出身地 鹿児島
- 前赴任地 県立大島病院
- 趣味 無芸大食、人畜無害
- コメント 年男です。朝青龍と同じ年です。よろしくお願します。



診察日程案内

平成28年6月現在

■ は再診日です。

		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科 (科要予約)	糖尿病	西牟田 浩				倉野 美穂子		馬場 泰忠		久留 千鶴			
	消化器	田口 宏樹 (中村義孝)		福森 光 青山 敏男		青崎 眞一郎		田口 宏樹 (福森 光)					
	肝臓 (再診のみ)			非常勤医師		非常勤医師				非常勤医師			
	循環器	福岡 嘉弘		福岡 嘉弘 網屋 俊		網屋 俊		福岡 嘉弘		網屋 俊			
	ペースメーカー (第3・4金曜)									福岡 嘉弘			
	腎臓	濱田 富志夫		村岡 良朗				濱田 富志夫		村岡 良朗			
	呼吸器	※末次/本川 /谷川		※豊倉和代						副島 賢忠			
一般内科	松岡 慧 児玉 朋子 (岩田美恵子)		再診日			岩田 美恵子 中村 義孝 (児玉朋子)		再診日		恒吉 研吾 岩田 美恵子			
外科 (予約)	外科	手術日		崎田 浩徳 (予約制)		手術日		有留 邦明 (予約制)		手術日			
	ストーマ外来 (第1火曜日)				有留 邦明								
小児外科	(一般外科手術)			池江 隆正 (13時30分-16時)	(一般外科手術)		手術日		(一般外科手術)	池江 隆正 (13時30分-16時)	池江 隆正 (第2-4土曜のみ) (9時30分-11時)	休診	
整形外科 (再診のみ)	非常勤医師								非常勤医師				
小児科	田中 主美 吉川 英樹		田中 主美 吉川 英樹		田中 主美 吉川 英樹		再診日		田中 主美 吉川 英樹			田中 主美 吉川 英樹	
泌尿器科	1診	手術日	伏谷 俊作 古郷 修一郎	手術	古郷 修一郎 伏谷 俊作	手術	伏谷 俊作 上村 康介	手術	上村 康介 古郷 修一郎	手術			
産婦人科 (予約)	産科 野口 慎一	1ヶ月検診	古郷 有佳子	手術日	松尾隆志/森まり絵 永井 さより	予約検査	森 まり絵 野口 慎一	手術	永井 さより 森 まり絵	予約検査	松尾 隆志		
産科 (予約)	産科 野口 慎一												
婦人科 (予約)	婦人科 松尾 隆志												
眼科	非常勤医師		非常勤医師		木村 勝哲		木村 勝哲		木村 勝哲				
皮膚科 (再診のみ)							非常勤医師		病棟回診				
放射線科	進藤 俊和	放射線治療	小野原 信一	血管造影	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	放射線治療	小野原 信一	進藤 俊和 高江 洸	小野原 信一 進藤 俊和 高江 洸
緩和ケア外来			安原/勝目/原田 (精神症状緩和) 第1・第3火曜日 14-16時				崎田浩徳(身体症状緩和・火曜日) 有留邦明(身体症状緩和・木曜日) 毎週火・木曜日 14-16時						
ペインクリニック											西村 絵実		

- ※呼吸器内科は月曜日又は火曜日(隔週)と毎週金曜日の診察になります。
- ※肝臓内科・整形外科・皮膚科については、初診の方の受付は行っておりません。
- 予約が必要な診療科・検査がございます。恐れ入りますが事前にお問い合わせ下さい。
- 担当医師は学会出張などにより不在・変更が生じることがあります。
- がんに関する相談をがん相談支援センターで行っております。(平日9時～16時)
- がん患者さんとご家族のサポートを行う緩和ケアチームがあります。
- セカンドオピニオンに関する相談を医療連携室にて行っております(平日9時～17時)

予約・お問い合わせは
TEL (0996)23-5221 (代表) 予約電話 月～金曜日
内科:14時～17時 その他:13時～17時

理念

私達は、保健・医療・福祉を通じて地域社会に貢献します。

基本方針

1. 患者様の尊厳と権利を常に尊重します。
2. 医療情報の開示と懇切な説明による開かれた医療を実現します。
3. 私達は常に研鑽し、患者様本意の、良質で安全な医療を目指します。
4. 公的中核病院として、地域の先生方と協力し、救急医療と高度の専門医療の推進に努めます。
5. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実に努め、働きがいのある職場を作ります。

患者様の権利と責務について

権利について

1. 誰でも、個人の人格や価値観を尊重され、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病院や治療について十分説明を受けた上で、検査や治療方法など、自分の意志で決める権利があります。
3. 診療の過程で得られた個人の情報等(プライバシー)は守られる権利があります。

責務について

1. 自分自身の健康に関する情報を、出来るだけ正確に医師や看護師に伝えて下さい。
2. 医療に関する説明を受けても十分理解できない場合は、わかるまで質問して下さい。
3. 病院の規則を守り、他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。

病院案内



社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院

〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町2番46号
TEL (0996)23-5221 FAX (0996)23-9797
http://www.saiseikai-sendai.jp/
mail: info@saiseikai-sendai.jp